



中部電力パワーグリッド



発動指令電源と電源Ⅰ'契約電源等が 重複する場合の取扱いについて

2022年7月1日

はじめに

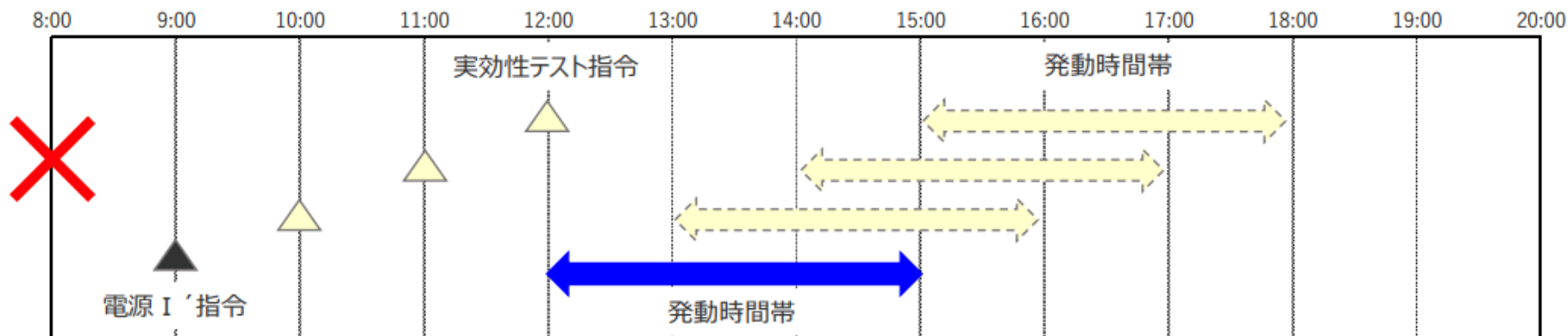
- 容量市場において落札された発動指令電源は、容量確保契約容量の蓋然性確認等を目的とした実効性テストを、実受給年度の2年度前に実施する必要があります。
- 発動指令電源におけるリソースと電源 I ' 厳気象対応調整力契約におけるリソースが重複する場合の実効性テスト、厳気象対応調整力の提供に関する取扱いは本資料のとおりといたします。

- 本資料では、以下の内容を前提に取扱いを説明いたします。

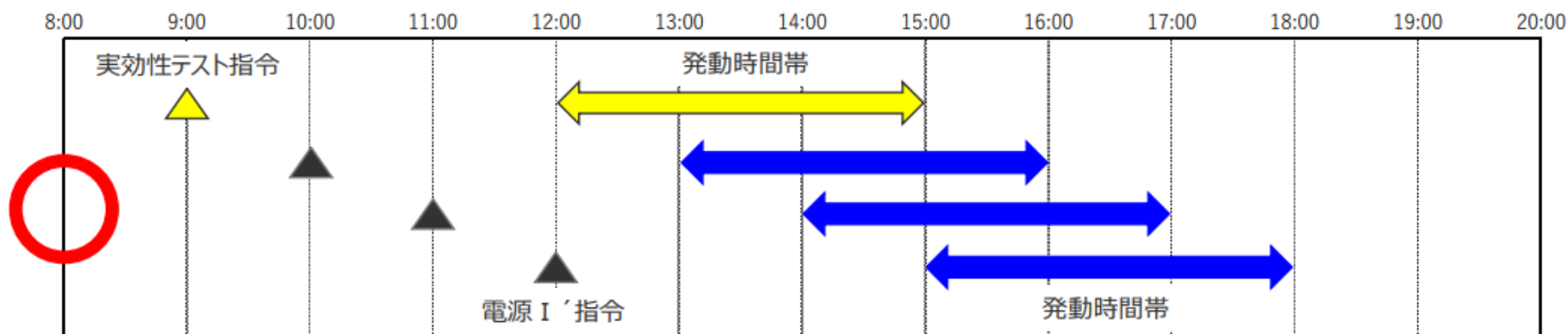
リソース	電源 I ' 最大供出電力	電源 I ' 契約電源等 対象	発動指令電源 対象
A	1, 0 0 0	○	○
B	5 0 0	○	
C	1, 5 0 0	○	
D			○
電源 I ' 契約電力	2, 5 0 0		

- ・ 電源 I ' は A , B および C をアグリゲーションして組成
- ・ 発動指令電源は、 A および D をアグリゲーションして組成

発動指令 (イメージ)



電源 I' 指令後に、実効性テスト指令を行うことはありません。



実効性テスト指令後に、電源 I' 指令を行うことがあります。(詳細は次スライド以降)

調整電力量算定対象，指令値および停電割戻料金

リソース	電源 I ' 最大供出電力	電源 I ' 契約電源等対象	発動指令電源対象
A	1, 0 0 0	○	○
B	5 0 0	○	A, D実効性テストにより先行して発動
C	1, 5 0 0	○	
D			○
電源 I ' 契約電力	2, 5 0 0		

- この場合，調整電力量算定の対象となるリソースはBおよびCといたします。
- 原則，以下の値で指令いたします。（以下「実効性テスト実施時指令値」といいます。）
- 停電割戻料金算定に関する未達割合の算式における「厳気象対応調整力契約電力」はすべて「実効性テスト実施時指令値」に読み替えるものといたします。

$$\text{実効性テスト実施時指令値} : \frac{\text{①} \times \text{②}}{\text{③}} = 1,667 \quad (\text{小数点以下第 1 位四捨五入})$$

- ① 電源 I ' 契約電力
- ② 調整電力量算定の対象となるリソースの電源 I ' 最大供出電力合計値
- ③ 電源 I ' 最大供出電力合計値